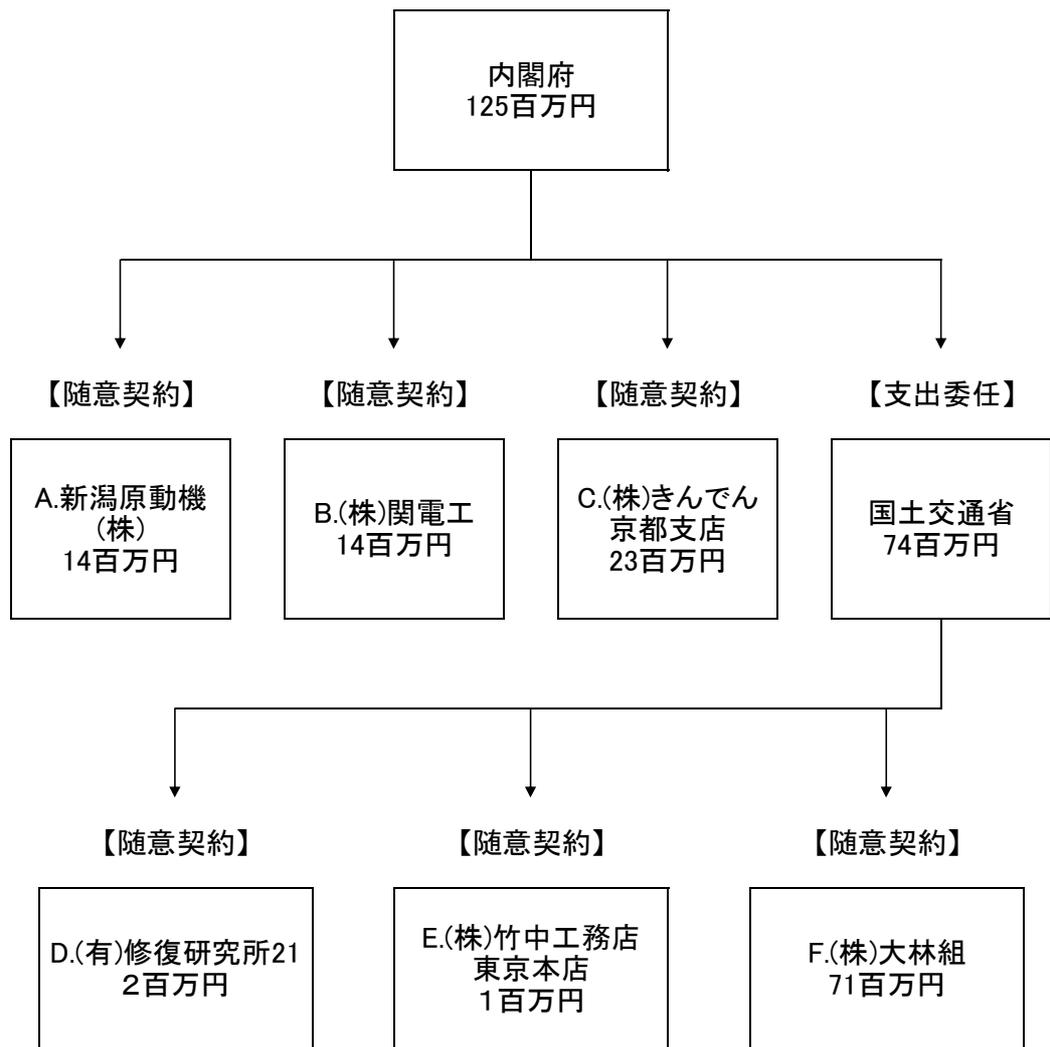


平成26年行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	迎賓施設整備に必要な経費		担当部局庁	迎賓館	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	事業開始:赤坂=昭和54年度 終了(予定)無し 京都=平成24年度		担当課室	庶務課	庶務課長 小林 秀夫			
会計区分	一般会計		政策・施策名	—				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	官公庁施設の建設等に関する法律		関係する計画、通知等	官公庁施設の建設等に関する法律第九条に基づく営繕計画書				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	赤坂迎賓館は、昭和49年の開館より35年以上が経過しており、建築、電気、機械設備については一部改修を行っているものの経年劣化が進み、故障等が頻繁に発生し、また部品等の調達も難しくなっており、接遇を実施するに当たり重大な支障が生じる恐れがある。また、京都迎賓館では、開館から10年目となり、既設置済み設備の部品が調達が困難となっており、接遇を実施するに当たり重大な支障が生じる恐れがある。そのため、接遇体制に万全を期するため必要な改修工事等を実施。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	赤坂迎賓館の天井絵画について、試験修復の成果を活用し修復事業を実施。また、宿泊室の内装等について、経年劣化の建具等の改修を実施。京都迎賓館に既設置済み特殊装置の更新工事を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求		
		当初予算	155	97	100	141	139	
		補正予算	—	53	—	—	—	
		前年度から繰越し	206	59	64	21	—	
		翌年度へ繰越し	▲ 59	▲ 64	▲ 21	—	—	
		予備費等	—	—	—	—	—	
	計	302	145	142	—	—		
	執行額	285	142	125	—	—		
執行率 (%)	94.3%	97.9%	88.1%	—	—			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	23年度	24年度	25年度	目標値 (年度)	
	従来より緊急度、不具合の頻度(耐用年数)等を考慮し、必要最小限の改修等を行っているところであるが、今後も迎賓施設の機能を維持するための必要最小限の改修等を行っていく。		成果実績	—	—	—	—	
			目標値	—	—	—	—	
			達成度	%	—	—	—	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込	
	経年劣化等の不具合による迎賓施設の改修工事		活動実績	件	3	7	2	—
			当初見込み	—	—	—	—	
			—	—	—	—		
単位当たりコスト	算出根拠		単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込	
	—		単位当たりコスト	—	—	—	—	
			計算式	/	—	—	—	—
平成26・27年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由				
	工事費	141	139					
	計	141	139					

事業所管部局による点検・改善						
項目		評価	評価に関する説明			
国費投入の 必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	国公費の接遇で使用する施設であるため、国で維持管理を行う必要がある。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○				
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	—				
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	支出先等については、支出委任をしている国土交通省で一般競争入札を行っており、競争性の確保、コスト削減に努めている。また、専門的な知識及び技術を要するため、一般競争入札に適さず随意契約(企画競争)となってしまうものについては、作業内容の精査等を行うことで適正化を図っている。			
	受益者との負担関係は妥当であるか。	—				
	単位当たりコストの水準は妥当か。	—				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—				
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—				
事業の 有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	—	国公費等の接遇を適切に行うために必要な改修工事等を実施している。			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	—				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○				
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検・ 改善 結果	点検結果	支出先の選定は、支出委任先の国土交通省において一般競争入札を行っており競争性の確保をし、一般競争を行うことによりコストの削減にも努めている。また、専門的な知識及び技術を要するため、一般競争入札に適さず随意契約(企画競争)となってしまうものについては、作業内容の精査等を行うことで適正化を図っている。改修工事は工事の範囲を必要最小限にとどめつつも、接遇の際に支障がないよう改修を行う必要がある。				
	改善の 方向性	国費等の接遇の実施に支障が無いよう、今後も順次施設の改修、整備を進めていく。				
外部有識者の所見						
経費削減が考えられるが、一般の官庁工事とは次元が違うため、技術の専門性の有無に留意するべきであろう。						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状 通り	事業の進捗状況の把握に努め、実態に即した適正な予算となるよう留意すべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状 通り	国公費等の接遇に支障の無いよう、外部有識者の意見を反映し、効率的・効果的に実施できるよう留意する。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成23年	155	平成24年	149	平成25年	142

※平成25年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
 (資金の受け取り先が何を  
 行っているかについて補足する)  
 (単位:百万円)

A.新潟原動機(株)			E.(株)竹中工務店東京本店		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
工事費	赤坂迎賓館設備棟非常用発電機設備オーバーホール	14	工事費	小屋裏和紙貼り	1
計		14	計		1
B.(株)関電工			F.(株)大林組		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
工事費	赤坂迎賓館事務棟直流電源装置更新工事	14	工事費	京都迎賓館特殊建具更新工事	71
計		14	計		71
C.(株)きんでん京都支店			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
工事費	京都迎賓館警備警戒システム(監視カメラ)増設等工事	23			
計		23	計		0
D.(有)修復研究所21			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
工事費	天井絵画修復工事	2			
計		2	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックごと  
 に最大の金額が  
 支出されている者  
 について記載す  
 る。費目と使途の  
 双方で実情が分  
 かるように記載)

## 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	新潟原動機(株)	赤坂迎賓館設備棟非常用発電機設備オーバーホール	14	随意契約	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)関電工	赤坂迎賓館事務棟直流電源装置更新工事	14	随意契約	—

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)きんでん京都支店	京都迎賓館警備警戒システム(監視カメラ)増設等工事	23	随意契約	—

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(有)修復研究所21	天井絵画修復工事	2	随意契約	—

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)竹中工務店東京本店	小屋裏和紙貼り	1	随意契約	—

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)大林組	京都迎賓館特殊建具更新工事	71	随意契約	—